

シルバーだより明石

銀の花

正会員数

1,350人

男 911人

女 439人

(平成28年1月1日現在)



初詣：柿本神社

【発 行】一般社団法人 明石市シルバー人材センター

〒673-0026 明石市船上町5-2

TEL (078) 922-5000 FAX (078) 922-5040

URL <http://www.akashisilver.or.jp/>

【企画・編集】広報部会



新年のごあいさつ

理事長 寺山 陽三

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、ご家族お揃いで健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素より、当センターの事業に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

団塊の世代が高齢期を迎えることなどにより、労働人口の大幅な減少が見込まれ、高齢者が健康で意欲と能力がある限り、年齢に関わりなく働き続けることのできる「生涯現役社会」の実現が求められています。

一方、高齢者の一人暮らしや夫婦のみの世帯が増加し、介護を必要とする高齢者がますます増えると推測されるため、介護保険制度が改正され、介護分類の「要支援」が市の地域支援事業に移行されることになりましたが、生活支援サービスの担い手が足りない状況です。

このようなことから、その受け皿として機能しているシルバー人材センターの役割はますます重要になっています。

当センターも会員の就業機会の拡大と地域貢献の観点から、法改正に伴い実施される生活支援サービス事業に取り組むため、特に女性会員を増やすことが必要となっています。

そのため、昨年は「女性の集い」を2回開催し、たくさんの女性会員同士のなごやかな交流とふれあう機会となり、こうした場で形成されたネットワークを活かし、女性会員の拡大につなげていきたいと考えています。

また、各地域で会員の方々がシルバー人材センターのPRと地域班の活性化のため、駅前などの公共空間の清掃ボランティア活動に取り組んでいます。今後もこの活動を通じ、就業機会の拡大につなげ、皆様とともに取り組んでまいりますので、ご協力をお願いいたします。

年頭にあたり、皆様にとって実り多い年であることを願うとともに、ご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

会員の就業機会の確保・拡大に向けた活動について

センターでは、兵シ協から1名、明石市からの委託を受けて緊急雇用の一環として2名、合計3名の就業開拓員を配置しております。

市内の製造業、福祉施設、小売店、不動産業、などへの訪問活動を実施しており、12月までで延べ訪問件数1,751件、仕事の受注成約件数26件、チラシ配布枚数12,553枚となっております。

製造業、流通業、福祉施設などから仕事の打診やご依頼をいただいております。就業開拓員の粘り強い訪問活動の結果、今年度は、流通業（スーパー・コンビニエンスストア）からの新規のご依頼を例年よりもいただいております。

今後とも、就業機会を開拓し、皆さまへのお仕事の提供に努めてまいります。



●訪問件数等の累計

	訪問件数	成約件数	チラシ配布枚数
12月までの累計	1,751	26	12,553

適正就業委員会からのお知らせ

自動車運転業務について

当センターでは、従来請負業務として、自動車運転業務（送迎・配達）を受託してきました。

しかしながら、下記のような厚生労働省告示の請負による車両運行管理の具体的な判断基準があり、発注者及びセンターがこの基準に沿って、契約することが困難であることから、労働者派遣または職業紹介による対応へと切り替えを進めています。

- ①発注者から提出を受けた運行計画が安全運転の確保、人員体制等から、不適切な場合には、センターから変更するよう申し入れができること。
- ②自動車事故が発生した場合には、発注者が被った損害に対し、センターが賠償責任を負う旨、契約書に明記すること。
- ③運転者の提供のみならず、車両の整備及び修理、燃料、備品、消耗品の購入、車両管理のための事務手続き、事故処理全般等も受託し、受託業務の範囲を契約書に明記すること。



適正就業について

センターでは、明石市シルバー人材センター適正就業基準に基づき、これまで以上のワークシェアリングの推進に努めてまいります。

適正就業基準につきましては、皆さんにお渡ししている会員の手引きに記載されておりますので、ご参照ください。

地域活動部会からのレポート

地域活動部会

◆清掃ボランティア活動お疲れ様です

今年度、地域活動の一環として、清掃ボランティア活動を行っております。

地域班ごとで、現在8地区で取り組み、計267名の会員さんが参加しました。

すでに清掃ボランティア活動を実施した地区では、清掃以外に同じ地区に住む会員さん同士の交流の場にもなっています。皆さん楽しんで汗を流していただきました。



望海ボランティア



大蔵・錦城ボランティア



野々池ボランティア



魚住東ボランティア

◆地域活動部会に各地区長の参加が決定

10月23日（金）に第1回の地区長会議を開催しました。

7名の地区長さんに出席いただき、意見交換をしました。

今後、地域活動部会に参画していただけるか提案したところ、地区長全員が集まって会議を開く機会を必要と考えていたと賛同していただき、地区長全員の参画が決定いたしました。



これからどのような会議にしていくかを調整し、来年度から実施していくたいと考えています。

安全委員会からのレポート

事故を無くしましょう

安全委員会

◆事故に注意してください！！

今年度発生している事故件数が12月時点で、すでに20件（傷害事故17件、物損事故3件）発生しております。

このペースで発生すると昨年度の倍の件数になってしまいます。幸い事故の内容で、重篤な事故はありませんが、会員一人ひとりの注意で、防げる事故が大半です。

仕事中はもちろんですが、普段の生活から事故は

気を付けていきましょう。



■傷害事故（17件のうち）

- ・就業中………10件
- ・就業途上……7件

上記のように、就業中もですが、途上の傷害事故も多発しています。仕事の行き帰りも十分注意しましょう。

◆朝来市シルバー人材センターで 合同委員会開催！！

安全委員の知識の向上と当センター会員の安全就業の指導強化を目的として、先進センターの視察を実施しました。

11月17日（火）に朝来市シルバー人材センターで合同委員会を開催し、意見交換を行いました。

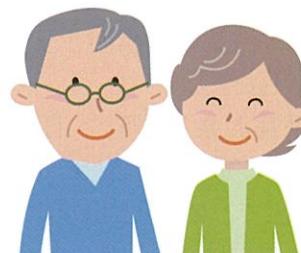


我々シルバー世代が、年をとったおかげで、世間が少しずつ見えてくると、身の丈に合った暮らし方が一番快適であることを実感するようになります。つまり、「分相応」に暮らすこと。人は誰しもが欲望どおり身勝手に生きることは出来ません。社会的地位を得て、金持ちになれば、「何の制約もなく自由が得られる」ということも錯覚であることを知り、そこで、個々人が自分の力の範囲で「分相応」に暮らすことの意味を知ります。

次に「年相応」の生き方。年を取ると、人は自分が^{ねぎら}ってもらつて当然とばかり、受身（弱者）の側に立つか、自分はまだまだやれると過信して他人の干渉を排除するか、両極端なケースが多いと聞きます。

自然体で謙虚に年相応の健康を目指すのが、晩年の生きる知恵でしょう。

（荒川 克博）



会員ふれあい広場

『センターと共に歩んで』(18)

今回は女性の集いに参加して女性パワーにふれてきました。



女性同士楽しい一時を過ごしました。女性の集い・クリスマス会が12月5日(土) 産業交流センターで開催されました。現在女性会員は約400名、今回は98名の方が参加されました。本日の司会は会員歴1年の酒井孝子さん。お話し上手で皆を笑わせてくれました。

同席の水野さん(会員歴11年)、中野さん(13年)、前田さん(4年)、碇武さん(6年)、小田さん(12年)は初めてのお出会いだそうですがすっかり打ち解けられて話も弾んでいらっしゃいました。皆さん会員になられてついぶん経っていますが、「今まで会員同士出会うとも無かったのでこんな機会はと



てもいいですね」とおっしゃっています。

クリスマス会ということで、囃家の丸々亭おはぎさんの落語あり、ハーモニカ演奏あり、ベルの演奏、bingoゲームありと盛りだくさんの内容で、中でもおおいに湧いたのはサンタさんに変装した職員の藤原課長。大きな袋をかついで全員にクリスマスプレゼントを配り歩きました。予定の2時間はあつという間に過ぎてしまいました。

今回で2回目となる女性の集いは企画、運営すべて女性会員の手によるものです。今年も4月に開催予定です。

(坂本 正子)



会員親睦日帰りバス旅行

信楽焼と長島温泉



今年度は、9月26日(土)、27日(日)の2日間で、284名の会員にご参加いただき、延べ9台のバスで、滋賀県の信楽と三重県の長島温泉への旅でした。

長島温泉というと、日帰りで行くには遠すぎるようを感じられましたが、新名神高速道路を経由して、2日間とも渋滞に巻き込まれることなく、順調でした。

お昼には、ご当地の名産の牛肉を食し、温泉にも浸かり、満足な一日を過ごしました。



会員文芸ひろば

会員作品展

日 時 10月21日(水)～30日(金)
場 所 JR大久保駅橋上市民ギャラリー
出展数 16名32点

「年賀状」
櫻井 茜

俳句

一自分史を繰りつ遠くに陰夜を聞く
一背中越し賽錢の飛ぶ初詣
一舞は降りし二羽の挨拶初雀

シルバーでの作業と生活を振り返って

植木剪定班 矢野 守

現役を卒業して10年、セントアーチでお世話になって7年目となりました。

山や緑が好きで、植木剪定作業を希望し、飛び込んでみて、思っていたよりはるかにハードで、剪定職人に弟子入りしたようなものでした。

ハサミの使い方から、作業手順、安全確保、切ったものの集め方など、一連の作業を初歩か

ら、厳しくご指導いただきました。

松の剪定の手ほどきを受け、どうにか作業できるようになるのに、3年を要しました。

庭がすっきりとして、「ご苦労様」と言つていただけることにやりがいを感じております。

仕事のみならず、童謡唱歌同好会でも、楽しい時間を過ごしております。

これからも、作業の仲間とともに、腕を磨き、発注者のご要望に応えていきたいと思っております。

シルバーフェスティバルに出展しました

11月22日(日)、23日(月)、デュオ神戸で開催されました兵庫県シルバー人材センター協会の「シルバーフェスティバル2015」に出展しました。



出展内容は、板・石への絵付けと折り紙、手芸同好会手作りの作品販売でした。

また、ステージでは、童謡唱歌同好会による懐かしの童謡唱歌の合唱を30分行いました。

いずれも、たくさんの方々の注目を引き、盛況でした。



事務局からのお知らせ

◆交通事故防止のために

感じていませんか?以前と違う自分の 目・心・体

最近よく、自転車乗車中や自動車運転中に速度や距離を見誤ったり、見るべきものを見落としたりしませんか? **※スピードはひかえめに!!**

歩行中、遠くに見えたから渡ったのに、道路の中央付近に着く頃には、車がすぐ近くまで来ていたなど・・・。**※横断中も周りを確認!!**

「なんか変だな おかしいな・・・」という感じはしても、心身の変化は自覚しにくいものです。しかしその変化が思わぬ交通事故につながりかねません。「何か変だ」と感じたら、「何か事故の危険があるかも」と構え、より安全な行動をとるよう心がけましょう。

◆自転車保険に入っていますか?

兵庫県内では、自転車の保険加入が義務化されています。まさかの事故に備え、保険加入を。T Sマーク付帯保険の有効期間は1年間です。年に1回、定期的に点検を受けて保険更新をしましょう。

自転車で、就業先へ往復する時の物損事故や人身事故については、シルバー保険の対象外です。

◆自転車は、くるまのなかま

～交通ルールを守って安全利用!～

自転車安全利用五則

- 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 車道は左側を通行
- 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 安全ルールを守る
 - ★ 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - ★ 夜間はライトを点灯
 - ★ 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- 子どもはヘルメット着用

◆マイナンバーに関する電話には応じないで!

マイナンバー制度(社会保障・税番号制度)が始まりました。シルバー人材センターと会員のみなさまとは雇用関係がないことから、マイナンバーを事務所にお知らせする必要はありません。

シルバー人材センターや市役所から、電話や訪問で問い合わせをすることはありません。

◆確定申告について

会員のみなさんが受領する配分金は、税法上「雑所得」として所得税の対象になります。「平成27年度配分金支払証明書」と「申告のしおり」を2月中に送付しますので各自申告の際にご利用ください。

◆配分金振込日のご案内

就業月	振込月日	備考
12月分	1月20日(水)	
1月分	2月15日(月)	
2月分	3月15日(火)	
3月分	4月15日(金)	
4月分	5月20日(金)	上半期会費納付月
5月分	6月15日(水)	

◆平成27年度事業実績報告

(平成27年4月～平成27年11月)

- 会員数(月末) 1,341人
- 就業実人員(人) 1,036人
- 就業率(%) 77.3%
- 受注件数 3,453件
内訳(公共 158件 民間 3,295件)
- 契約金額合計 481,620千円
内訳(公共 121,177千円 民間 360,443千円)

編 集 後 記

EDITOR'S POSTSCRIPT

- 新年を飾る本号表紙写真は明石の象徴、「人丸さん」と呼ばれ親しまれる「柿本神社」の新年参拝風景です。(本年一月一日撮影、坂本正子)
- 本年の干支は丙申(ひのえのさる)で物事の進歩・発展が期待されると言われる一方で、世界で頻発するテロ、欧州の難民等など更なる広がりも心配されます。
- 昨年暮れ、世相を表す「漢字」が「安」に決まりました。この意味するところは「今年は安全な社会を!」と希求する国民の総意ではないかと感じます。
- 今年も又、会員ご一同様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。 (広報部会)